

読賣新聞

2007年(平成19年) 11月16日 金曜日

東南海地震

津波の原因は分岐断層

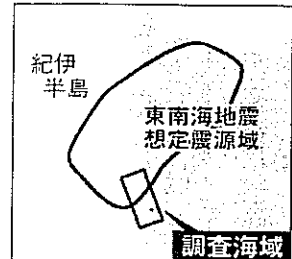
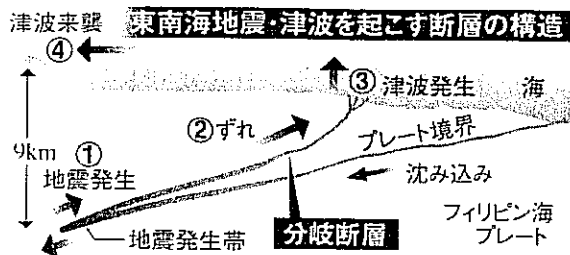
プレートが岩盤押し上げ

東南海地震に伴い西日本の太平洋沿岸を襲った津波は、プレート(板状の岩盤)境界から分岐する断層によって引き起こされた可能性が高いことが海洋研究開発機構の調査でわかった。

同機構は昨年春、同半島から南東約1000キロの沖台で、船から音波を出して海底下の地質構造を探った。その結果、分岐断層が海底面まで達し、海底近くの浅い領域で津波を起しやすいう急な角度になっていることがわかった。海底に積もった土砂でも分岐断層が確認できたことなどから、最近1000年以内に断層活動があったことも判明。これらから、東南海地震に伴う津波は、分岐断層が原因と同機構は結論づけた。プレート境界がずれると分岐断層の岩盤が押し上げられ津波が起きる仕組みで、東海、南海地震の想定震源域にも分岐断層があり、同様に大津波が起きると同機構はみている。

今後起きる津波の到達予測の精度を高めたり、海底津波計を効率的に配置したりするのに役立つ成果などという。16日付の米科学誌サイエンスに掲載される。

紀伊半島沖では、陸側のユーラシアプレートに海側のフィリピン海プレートが沈み込み、分岐断層が形成されている。この断層が、東南海地震の原因となったとみられている。調査海域は、紀伊半島の南東部、東南海地震の想定震源域に相当する。



東南海地震に伴い西日本の太平洋沿岸を襲った津波は、プレート(板状の岩盤)境界から分岐する断層によって引き起こされた可能性が高いことが海洋研究開発機構の調査でわかった。

同機構は昨年春、同半島から南東約1000キロの沖台で、船から音波を出して海底下の地質構造を探った。その結果、分岐断層が海底面まで達し、海底近くの浅い領域で津波を起しやすいう急な角度になっていることがわかった。海底に積もった土砂でも分岐断層が確認できたことなどから、最近1000年以内に断層活動があったことも判明。これらから、東南海地震に伴う津波は、分岐断層が原因と同機構は結論づけた。

プレート境界がずれると分岐断層の岩盤が押し上げられ津波が起きる仕組みで、東海、南海地震の想定震源域にも分岐断層があり、同様に大津波が起きると同機構はみている。

東南海地震は90〜150年おきに発生、1944年には三重県・尾鷲港に約9メートルの津波が押し寄せた。